

## 【鉄能会×NIC】iPad授業用アプリの共同開発プロジェクトを始動！ ～ 現場講師の声から生み出される実用的な iPad 授業アプリ ～

### ■要約

#### 【中学受験専門塾 鉄能会】

株式会社俊英館は、ソフトウェア開発会社の日本インフォメーション株式会社と共同で、iPadを使った効果的な授業を実現するための授業用アプリ共同開発プロジェクトを始動する。中学受験専門塾の鉄能会の講師が中心となって授業用アプリのアイデアを提供。学校や塾といった授業現場で使える実用的なアプリ開発をめざす。

### ■本文

報道関係者 各位  
プレスリリース

2012年2月23日

株式会社俊英館

代表者 田村 幸之



学習塾を運営する株式会社俊英館(本社:東京都板橋区)は、iOS アプリを開発する日本インフォメーション株式会社(本社:愛知県名古屋市)とともに、iPadを使った効果的な授業を実現するための教育機関向けアプリの開発に向けた共同プロジェクトを始動する。実際に授業現場で活躍する講師の意見を取り入れた実用的な授業用アプリを生み出すことで、教育業界におけるICT導入の推進をめざす。

韓国やアメリカをはじめとするIT先進国と比べ、日本の教育におけるICT活用は遅れているばかりでなく、将来的な生徒1人1台のタブレットPC配備という目標すらその実現を危ぶむ声が少ない。2012年1月19日にはApple社から電子教科書を無料で作成できる「iBooks Author」が発表されたが、これによりさらに諸外国との差が広がっていくと予想する専門家もいる。日本の教育現場、特に初等中等教育においてICT導入がなかなか進まない背景には、予算や著作権の問題などいくつかの要因があげられるが、「タブレット端末を使ってどんな授業をすればいいのか」といった明確な指標がないことも大きな要因の1つとなっている。

俊英館では、2011年春に小学生向けの新课程「ひらめき★脳育コース i[アイ]」を開講し、iPadとプロジェクターを使った新たな授業スタイルを導入。その後も動画教材を用いた中学生向け理社講座、「Ei-Zo 理社授業 i[アイ]」を開講するなど、iPadを積極的に授業の中で活用し、導入における課題や効果を検証してきた。そんな中、さらに効果的なiPad授業を実現するためには、市販されているアプリだけでは限界があり、実際に教育現場で授業をする講師の意見を取り入れたアプリの必要性を感じていた。そこで、iOSアプリの開発で実績のある日本インフォメーションに共同でのアプリ開発を提案。両社の強みを活かしたプロジェクトとして共同でアプリ開発を行っていくことが決まった。

□ ひらめき★脳育コース i[アイ]

<http://www.shuneikan.co.jp/sp/hirameki/>

□ 日本インフォメーション株式会社 製品情報

<http://www.nicnet.co.jp/system/>

共同開発プロジェクトでは、中学受験専門塾「鉄能会」から数名の講師が参画。授業で iPad を効果的に活用するためのアプリのアイデアを複数提供する。生徒と講師が iPad を手にした状態で、それぞれの生徒が書き込んだ解答を講師が手元の iPad で確認、クイズ番組のように個々または全員の解答をプロジェクターで映写できるアプリなど、従来の紙の教材だけではできなかった「学び合い」を中心に新しい学びのカタチを提案する。

■ 中学受験専門 鉄能会 ( <http://www.tetsunokai.com/> )

完全少人数定員制により大手塾にはない生徒一人ひとりへのケアを実現した中学受験専門塾。従来の解説を中心とした“詰め込み型”の授業ではなく、“自ら考える機会”を多く盛り込んだ独自の授業スタイルで、御三家をはじめとする難関中学校への合格者を多数輩出している。随時対応している学習相談では「脳育」「環境」「思考習慣」をキーワードに、子供の脳の成長に応じた効果的な学習プランを提案。経験と実績を積み重ねてきた講師の的確なアドバイスは、大手塾で成績が上がらず相談に訪れた中学受験生の保護者からも絶大な支持を得ている。

■ 日本インフォメーション株式会社 ( <http://www.nicnet.co.jp/> )

名古屋に本社を置き、名古屋、東京、大阪に事業本部、盛岡に開発子会社を持つ独立系ソフト会社。主に製造業、物流、組込分野などを受託開発している。近年では、スマートフォンやタブレット分野において、これまでの経験を生かしモバイル端末を絡めた業務システム開発などを手がけ、自社製品の開発にも注力。現在、iPad を使用したペーパーレス会議システム「スマートセッション」を開発・販売しているが、スマートシリーズの第二弾として、教育分野に特化したアプリケーション開発を行うこととなった。

#### 【会社概要】

- 会社名 株式会社俊英館
- 代表者 田村 幸之
- 資本金 4,500 万円
- 設立 1984 年(昭和 59 年)3 月
- 所在地 〒173-0037 東京都板橋区小茂根 4-9-2 セガミビル 3F
- TEL 03-5917-3711(本件に関するお問合せは 04-2938-2905 まで。受付:14:00~22:00)
- FAX 03-5917-3713
- URL <http://www.shuneikan.co.jp/>
- Email [marketing@shuneikan.co.jp](mailto:marketing@shuneikan.co.jp)
- 事業内容 学習塾、語学教室等教室施設の運営

【本件に関するお問い合わせ】

- 会社名 株式会社俊英館
- 担当者 マーケティング部 小池
- TEL 04-2938-2905 (受付: 14:00~22:00)
- FAX 04-2938-2907
- Email [marketing@shuneikan.co.jp](mailto:marketing@shuneikan.co.jp)

